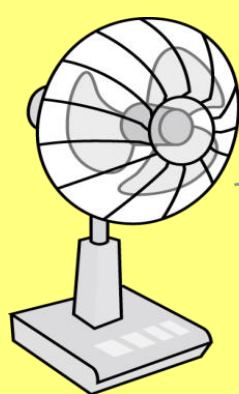


家畜の暑熱対策と飼養者の熱中症予防

- ◆家畜の暑熱被害は丹後地域も含めて全国で発生しています。
- ◆畜産業を含めた農業従事者の熱中症も毎年発生しています。
- ◆家畜と畜産従事者双方が無理なく安全に夏季を過ごせるよう、暑熱対策と熱中症対策をよろしくお願いします。



家畜、家きんは直射日光の当たらない通気の良い環境で無理無く飼養しましょう

- ◆家畜、家きん飼育者は作業前、作業中に必ず点検しよう！
(農林水産省生産局技術普及課資料参考)



毎日点検!

点検
次郎



- 日中の気温の高い時間帯を外して計画的に作業を行いましょよう。
- 作業前、作業中の水分補給、小まめに休憩をとりましょよう。
- 熱中症予防グッズ（帽子、吸汗速乾衣料など）を活用しましょよう。
- 一人での作業を避けましょよう。
- 高温多湿の環境を避けましょよう。
- 健康状態を常に把握し、熱中症を疑ったら即作業を中断しましょよう。

夏の農作業で心がけること(裏面の農林水産省資料)を参考としてください

夏の農作業で心がけること



1. 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう

- ☀ 特に70歳以上の方は、のどの渇きや気温の上昇を感じづらくなるので、高温時の作業は極力避けましょう

2. 作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう

- ☀ のどが乾いていなくても20分おきに休憩し、毎回コップ1~2杯以上を目安に水分補給しましょう
- ☀ 足がつったり、筋肉がピクピクする症状がみられたら、0.1~0.2%程度の食塩水（1Lの水に1~2gの食塩）、スポーツ飲料、塩分補給用タブレットを摂取しましょう
※市販品を摂取する際は、必ず成分表示をチェックし、適切な量を摂取してください。
- ☀ 休憩時は、日陰等の涼しい場所で休憩し、作業着を脱ぎ、手足を露出して体温を下げましょう



3. 熱中症予防グッズを活用しましょう

- ☀ 屋外では帽子、吸汗速乾性素材の衣服、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょう

4. 単独作業を避けましょう

- ☀ 作業は2人以上で行うか、時間を決めて水分・塩分補給の声かけを行うなど、定期的に異常がないか確認し合うようにしましょう

5. 高温多湿の環境を避けましょう

- ☀ 暑さ指数(WBGT)計、温度計、湿度計で、作業環境を確認しましょう。
- ☀ 作業場所には、日よけを設ける等できるだけ日陰で作業をするようにしましょう
- ☀ 特にビニールハウス等の施設内は風通しが悪く、早い時期、早い時間から暑さ指数(WBGT)が高くなるため、風通しを良くしたり断熱材を活用しましょう